FIWC 関東
Friends International Work Camps
関東委員会
with S.C.I. (Service Civil International) Japan

定例委員会報告

2000.7

参加者：田中宇宙、浜島恭子、赤松智子、青山哲也、三原梓、原田健一、服部雅行、宮本久美子、戸張岳陽、小杉常男、多田聖、潮田広行、中村博志、佐塚あゆみ、杉本さおり、西尾雄志、南井弘次、目黒美穂子、大西博子、鳥居厚志、今野忍、豊田兼宇、豊田素子、茂木亮

2000年7月8日（土）　目黒鍼灸院にて。　担当：茂木亮

FIWCの呼びかけで、姉妹団体SCIと合同で行っています

活動報告

○八王子平和の家 夏祭り

夏祭りボランティア募集　7月29日（土）午後

平和の家とは、知的障害者が生活する施設です。FIWCのメンバーの縁で4年ほど前から交流をしています。この平和の家は、障害者施設の中では有名な存在で、「ノーマライゼーション～障害者も普通の生活を望む人間である」の視点で、病棟のようなハード、ソフトを否定し、4, 5人がお隣さんの感覚で共同生活する、食事も一斉ではなく好きなときに食べる、外食だってできる、というようなことを実践しています。

今回は、毎年恒例の夏祭りということで、園内の縁日（焼き鳥、金魚掬いなど）のお手伝いをします。入居者のご家族やご近所の参加でにぎわいます。

ボランティアの人には、ヤキソバ券などがもらえます。若干名まだ余裕があります。（浜島恭子）

場所：八王子 平和の家

八王子駅からバスで約1時間（交通費自己負担）

連絡先：浜島恭子

○SCI ロシアキャンプ

7月26日～8月11日

絶滅の危機に瀕するアムールタイガーの檻をつくるキャンプ。先日のSCIのスタディツアーに一色君が参加し、キャンプが決まったとのこと。

入国は新潟から飛行機or船。キャンプ地はハバロフスク（案外近いんですよね！）

交通費のほか、参加費3000円、食費7000円負担。

ただしビザ取得の関係でいったん締め切りました。（豊田兼宇、素子）

連絡先：一色崇典

○SCI 山梨小杉農場キャンプ

7月30日～8月13日

SCIで昔から活動の小杉さんの農場での小屋作りプロジェクト、間伐材で何かをつくろう企画。

小杉さんは、不登校の子供が気軽に立ち寄れる場所として、農場内に数年前から小屋を作り始めました。ここ何年かのキャンプでようやく屋根まであがりました！小杉さんも「大人がビールを飲みに寄れるちょっとした場所にもしたい！」と多くの人に呼びかけてきました。FIWCの人も何人も関っています。

今年のキャンプはSCI-JAPANの尽力でユネスコ支援も取り付け、ベルギーやネパールからもキャンパーがかけつけます。また、8月5日、6日はSCIの連続講座の一環としての「平和学」の特別講座も行われます（講師：佐々木寛教授）

牧落の割と標高の高いところなので、夏も涼しく自然が豊かです。薪で焚く五右衛門風呂もあります。途中富士山も見えます！（小杉常男）

現在参加が確定しているのはKanhaiya Joshi(ネパール)、Suman Dahal（ネパール）、Wilmotte　Arnaud（ベルギー）、Angela Ellen（ドイツ）そしてJunko Kato(日本＝在イギリス)いずれも外国からの参加です。

参加希望の方は至急ご連絡下さい。また８月５日、６日の平和学のみの参加者、また仕事、学校などの都合上、部分参加の人もご連絡下さい。

小杉農場　　JR中央本線塩山駅下車(南口)
駅前ロータリーの牧丘町営バス停より窪平行、窪平下車
バスの便数が少ないです。お問い合わせください。
参加費:SCI会費3000円と食費一日800円程度
連絡先:小杉常男

○夏だ。祭りだ。チャリティーだ。みんなで三平にあつまれ！フェスタ開催

8月13日12:00〜

山梨キャンプに参加する外国人参加者を東京でもてなす意味も含め、8月13日(日)に東京・代々木の名物定食屋、「三平」にて夏祭りを行います。SCIとかFIWCとか関係なく、みなさんご参加ください。

「ワークキャンプとは何ぞや(仮称)」というワークショップが行われます。

バザーもあります。参加者及びその辺の人に売って,その売上を貧窮極まるSCIの財政建て直しに、もしくは当日の酒代の為に有効に使おう、という企画です。なにかチャリティーに出せるものがあれば持参してください。(一色崇典)

12:00〜バザー開始、14:00〜キャンプワークショップ,16:00〜休憩,18:00〜バザー終了,18:30〜打ち上げ,20:00〜ビンゴ(バンド演奏有)
会食の費用は, 一人2000円くらい。
連絡先:一色崇典

当日の連絡先:三平
平山雄一

○FIWC関東 フィリピンキャンプ

8月24日〜9月14日

今年で3回目になるレイテ島で貯水槽を作るキャンプを行います。

セブ空港から船で2〜3時間でレイテ島へ。そこからバスで現地入りします。費用は飛行機代を含め13.5万円。宿泊は学校とのこと。

トバという地酒(やし酒)がうまい！

少女がとてもかわいい！　(西尾談)

言葉はセブアノですが、英語も十分通じます。毎年墓参りに訪れる日本人もいるそうです。そんな歴史を感じつつ新しい世代の関係を築いています。(中村博志)
連絡先:中村博志

○SCI ネパールキャンプ

10月15日〜11月初旬

SCI ネパールと日本の二国合同キャンプ。カトマンズの近くで行います。ワークは橋を直すキャンプと聞いていますが、よくわからないので8月下旬に宮本以下で下見に行ってきます。

9月に説明会を行い、10月上旬に締め切る予定。興味のある方は、宮本まで。また、小杉農場キャンプにネパールの人が参加します。彼から話を聞くのもいいかも･･･下見に随行したい方も募集です！(宮本久美子)
連絡先:宮本久美子

○FIWC関西 日韓合同ワークキャンプ

8月5日〜21日

FIWC関西委員会と韓国の忠南大学の助癩会(ジョナフェ)の合同キャンプ。30年の歴史を誇ります。今年は光州の近くの再生園というハンセン病快復者の定着村でキャンプを行います。

ワークは石垣積みと村人の日常仕事の手伝いなど。

渡韓に先立ち、奈良の「交流の家」で準備キャンプを行います。

6月末で募集を締め切りました。40人以上の申し込みがありました。(茂木亮)
連絡先:茂木亮　mog@mognet.org

モグネット　www.mognet.org
ワークキャンプの情報あります　e-mail mog@mognet.org

活動報告

○FIWC関東 韓国キャンプ

8月2日〜8月11日

FIWC関東委員会でも、同時期に韓国外国語大学のハナフェと合同でキャンプを行っています。場所は、Chung-cheng namdo Sesan-si Woonsan-myn YOUNG-RAKwonです。去年の参加者４名でしたが、今年はそれよりも少ないです。

連絡先：巽重雄

○SCI バングラデシュキャンプ

来年3月予定

バングラデシュはインドの東に位置する国ですが、そこのランガバリ島で井戸とトイレをつくるキャンプを行っています。今回は学校にのりこんでイベントや文化の紹介などもしてみたいと企画しています。

交通の便が悪く、タイ経由、首都ダッカ泊＋船中泊と現地まで4日もかかる秘境！？の地です。それだけにここまで続けてきたスタッフに意気は高い！（よね、鳥居君）衛生的には先進国からはほどとおく、毎日カレーも嫌いな人にはツライ。お酒も表向きはダメ（でも飲めるよ！ふぅ安心）それでも人が集まってしまう不思議な魅力のキャンプです。

昨年は、ほとんど島中の人を集め祭りを行いました。1000人以上の観衆の前で寸劇を披露し、島中がウケた時は、地響きがしたそうです。

これから創っていくキャンプなのでスタッフ、参加者。下見者大募集。参加費は15万円程度（鳥居厚志）

連絡先：鳥居厚志

○愛生園 チンドン隊企画

8月3日〜4日

日本にも「らい（ハンセン病）」の療養所あります。今回はFIWCとつながりの深い岡山の愛生園の夏祭りにチンドンバンドで参加します。韓国の伝統的な楽器であるチャンゴを中心に、笛や太鼓や三味線やそれぞれ好きな楽器で、にぎやかしバンドを結成し、園内をくまなくバンド行進します。

昨年もちんどん やりました！ 長島愛生園夏祭り

練習は関西で行っていますが、当日参加ももちろんOK。楽器のできない人も音の出るものを何か持って（フライパンとか缶とか）参加できます。今年はチャンゴ（韓国太鼓）のうまい人も参加するとのこと。

普段入れない療棟にもズカズカ入って行進します。島は高齢化が進んで寝たきりの老人も多いのですが、頭の上をチンドンが通ると目を開けて顔の表情で反応するそうです。寝たきりの老人の生気を感じるヒトトキです。

関西からは車の乗り合わせで行きますが、関東からの参加者は連絡をください。行き方を案内します。宿泊は園内で1000円／泊です。（戸張岳陽）

連絡先：戸張岳陽

○らい予防法　損害賠償裁判経過

1907年に施行されたらい予防法は、治療法が確立されているにもかかわらず感染者を隔離し、断種や中絶を迫ったり、社会的差別を生み出すなど、多大な人権侵害を助長し、放置してきました。

1996年4月、菅厚生大臣下で「予防法」は廃止になりましたが、この法により人間的な生活を奪われたと療養所生活者500人を中心に国を相手に裁判を起こしています。マスコミはほとんど取り上げていません。社会的関心が薄れると裁判は尻すぼみになります。裁判傍聴もできますので、興味のある方は青山までお問い合わせください。

なお、東京の東村山市にあるハンセン病療養所の多磨全生園には、ハンセン病資料館があります。（青山哲也）

連絡先：青山哲也

○ハンセン病資料館（多磨全生園内）

入館無料　開館時間：午後1時～4時

休館日：月・金曜日、祝祭日

Tel：0423-96-2909

西武池袋線清瀬駅より久米川駅行き、又は所沢駅行き

西武新宿線久米川駅から清瀬駅行き

ハンセン病資料館前（多摩研前）下車

意見交換・ほか

○長らく休眠していたFIWC関東委員会を昨年の忘年会、そして先月から定例会として復活させました。

○社会人になってもキャンパーとしての「精神」や「仲間」は僕たちの根底、宝である気がしています。また世代、性別、人種、主義思想等を超えて集い、交流し、お互いを高め合うことがFIWCの良き伝統でしょう。そんな思いの中で、まだまだ「定例会」の役割はあるのではないか？と思い立ち、再スタートを切ったのです！

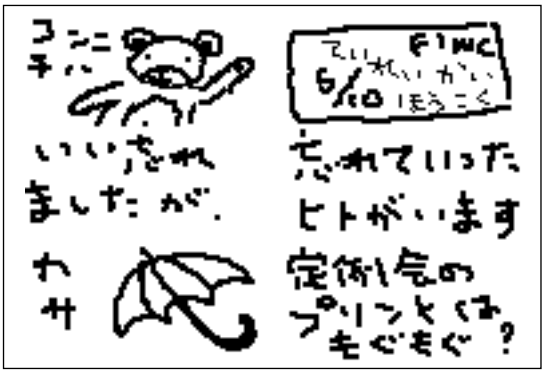
○また、FIWCと同じく、ピエールセレゾールを始祖とし、ヨーロッパから伝播したSCIとの出会いが東京ではありました。SCIも長らく休眠していましたが、豊田兼宇、素子さんの尽力により今では上記のような様々なキャンプを行っています。

○FIWC、SCIとどの名前を使うかにはこだわらず、仲間として集える場所、空間として「定例会」を続けて行けたらと考えています。これまで活動から遠ざかっていた先輩方もぜひ、定例会に足をお運びください。また、ご意見、ご提案、こんなキャンプはどうかとか、本や映画や活動の紹介もあわせて募集しています。定例会通信に載せたい原稿もありましたら、服部までご送付ください。

◆会計について

定例会報告の印刷、送付にも経費がかかります。現在のFIWCの残高では早晩パンクしますので、金融再生委員会（うそ）、会計コミッティーを別途設けます。これまでの会計整理、報告を行い、会費の集金、カンパの依頼を行うつもりです。よろしくお願いします。

▼定例会のわすれもの



○SCI-Japanの連絡先

豊田兼宇、素子

次回の定例会

2000年9月30日（土）19時から

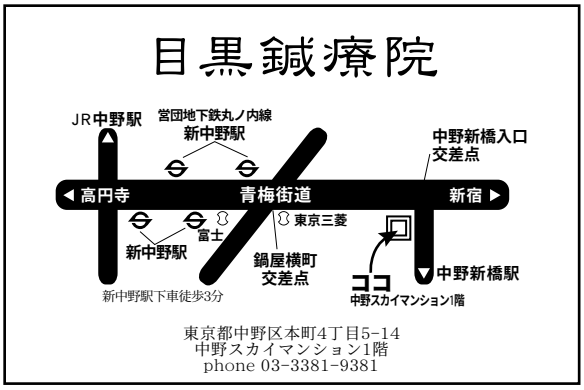
東京・新中野「目黒鍼灸院」にて

担当：鳥居厚志

（目黒さんの好意で鍼灸院の診察室を定例会の場所として6月より提供いただいています。場所は下記の地図をご参照ください）

文責：服部 雅行

編集：茂木 亮

※PDF版では、個人の電話番号などの連絡先を掲載しておりません。お知りになりたい方は、茂木までメールにてお問い合わせください。

PDF版制作：茂木 亮 mog@mognet.org